

新田勲会員のご逝去を悼む

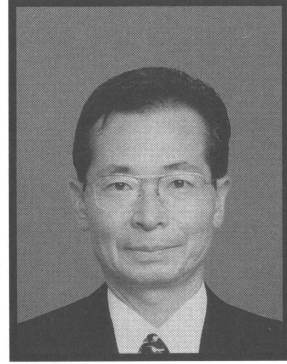
新田勲会員は、1997年12月8日未明、享年54歳にて永眠された。未だ壮年の域であり、更なる活躍が期待されていただけに、誠に残念でならない。

新田会員は、1943年岡山県に生まれ、東京大学理学部物理学地球物理科大学院に進学、その後、東京学芸大学、東京大学理学部、気象研究所、気象庁予報部、気象大学校、東京大学気候システム研究センターの要職を歴任、常に、気象・気候の研究の最前線で活躍し、精力的に成果を出されていた。日本気象学会でも、27、28期において理事を務め、気象集誌編集委員長として活躍された。

新田さんというと、60～70年代の東京大学を特徴づけた熱帯気象研究の若き旗手と言う印象が強い、柳井先生をリーダーとして後にUCLAで大きく花開いて行く、積雲対流と大規模場の流れの相互作用の研究という大きな流れの中の中心に常に新田さんがいた、という印象である。これらの研究成果に基づいて、1980年度の日本気象学会賞を受賞された。

その後の新田さんの研究は、重要な問題や現象を人に先駆けて見つけた、ということが多かったように思われる。気象研究所に移ってからの1980年以来蓄積されていた気象衛星「ひまわり」の赤外画像データを用いてフィリピン沖の海面水温と日本での亜熱帯高気圧の強さの相関を示すPJパターンの発見や、SO Index や SST の1950年以降の時系列から、1976年を契機としてENSOの様相が変化することを指摘し、10年スケールの変動が存在することの指摘など、その後の大きな研究の流れの嚆矢となった研究と思われる。事実、PJパターンは80年代の日本の猛暑の予測のパラダイムの一つとなったし10年規模の変動の研究は、90年代の気候研究の一つの柱となっている。

その後、新田さんは、気候システム研究センターの発足と共に、1992年の4月から、気候解析分野の教授として参加してもらった。新しい枠組みで気候研究を大きく育てて貰いたいという意図であり、新田さんは、その期待に十分応えてもらった。さらに、新たな研究組織を立ち上げて行くと言うことは、一種の混乱なの



であるが、その様なときにも、新田さんの誠実な人柄と物事をきちんと着実にやるという資質は大きな役割を果たした。

このような資質は、TRMM プロジェクトサイエンティストとしての活躍の中にも十分に発揮された。TRMM は、日米共同プロジェクトであり世界で初めて宇宙からレーダーで雨を測るというものであったが、当初から問題が山積みであった。特に、「気象に関連したプロジェクトなのに日本の気象関係者は少しも積極的にTRMMを支援しない」という批判が外部には多く、なんらかの対応が求められていた状況であった。この様な中で、敢然とプロジェクトサイエンティストの職を引き受け、宇宙開発事業団、NASA、気象庁などの間に入ってTRMMプロジェクトの実現に努力された姿は印象的であった。今日、TRMM が成功裡に打ち上げられたのも、新田さんの誠実な人柄と学問的な正しい指導が大いに貢献したと言って良い。これから、これらのデータを使って新しい研究が出来ると言うときに、この世での研究を中止せざるを得なかった心中を想像すると、落涙せざるを得ない。

新田さんは、自分の命が限られていることを知りながらも、全く、常と変わらぬ生活を続けて行こうとされていた。研究に教育にその残るエネルギーを注がれている姿、「天命である」として自分の運命を徳憑と受け止め、肅々と行動される姿は、周囲の者に大いに感銘を与えた。このような新田さんの生きてきた姿とその研究成果は、我々、同僚の中に、指導を受けた学生の中に受け継がれていくし、それは、必ず将来、大き

な成果につながることを信じている。そして、このことが新田さんに送る最高のエールであろう。謹んでご

冥福をお祈りする。

(東京大学気候システム研究センター 住 明正)



国際宇宙ステーション搭乗「宇宙飛行士」募集

宇宙開発事業団では、2003年度頃から本格的に運用が開始される国際宇宙ステーション (ISS) に搭乗する日本人宇宙飛行士候補者を2名程度募集します。

今回募集する宇宙飛行士候補者は、宇宙飛行士に認定された後、1回の任務毎に3～6か月程度ISSに滞在し、日本の実験棟 (JEM) を含むISSの操作・保守及び様々な分野の実験や観測を担当する予定です。

応募条件としては、日本国籍を有すること、自然科学系の大学を卒業以上であること、研究、設計、開発等の実務経験が3年以上あることなどが挙げられます。また、長期宇宙滞在への適応性や国際クルーの一員としての言語能力や協調性も重視されます。

その他、募集に関する詳細は、応募用資料を請求の上、ご確認ください。応募用資料は、ハガキまたはFAXで必要事項をご記入の上ご請求ください。また、インターネットのホームページでも請求できます。

記入必要事項

返信先住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今回の募集を知ったきっかけ

請求先

◇ハガキの場合

〒305-8799 筑波学園郵便局留
宇宙開発事業団 筑波宇宙センター内
宇宙飛行士募集係

◇ファックスの場合

FAX: 0298(51)1223

◇インターネット (宇宙飛行士募集ホームページ)

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/JEM/Jem-j/astroselect/index.html>

応募締切

1998年4月30日 (木) 必着

採用決定

1999年1月頃

お問い合わせ先

宇宙開発事業団 筑波宇宙センター
宇宙飛行士募集係
TEL: 0298(54)3998/3999